

目 次

I	ほ乳類について	1
II	海底になった信州	2
1	日本列島と日本海の成立	2
2	フォッサマグナの海	3
3	富草層群の化石—古瀬戸内海の動物たち	4
III	古長野湾の海獣たち	6
IV	陸上のほ乳類	14
1	古長野湾の埋積と盆地の形成	14
2	シンシュウゾウとアケボノゾウ	15
3	アケボノゾウの時代の信州の山と川	24
V	氷河時代の動物たち	25
1	日本の第四紀ほ乳動物相の変遷	25
2	最終氷期の動物たち	28
3	大型獣の絶滅	30
VI	最終氷期の信州	32
VII	ヒトの生活と野生動物	42
1	遺跡から出土した動物	42
2	オオカミとカワウソの絶滅	44
VIII	展示資料目録	45
IX	図表の引用文献	47

ごあいさつ

現在の長野県には、約50種類のほ乳類がすんでいます。県内には海がないため、すんでいるほ乳類はすべて陸上で生活する動物たちです。しかし、長野県内に海が広がっていた数百万年前の地層からは、クジラの仲間やアシカ・アザラの仲間などの海生ほ乳類の化石がたくさんみつかっています。また、陸上の動物についても、現在の日本には生息しない動物の化石が多くみつかっています。

これらの動物は、各時代ごとにそのころの環境に適応しながら生息していたものです。信州の大地は長い地質時代を通じて大きな環境の変化を何度も経験してきましたが、動物たちもこれに応じて時代ごとに変化をとげてきました。

今回の特別展では、県内でみつかったさまざまなほ乳類の化石を一同に集めて展示します。これらの貴重な化石を通して、信州の大地のたどってきた悠久の歴史と今では見ることのできない大昔の動物たちの姿に触れていただきたいと思います。

長野市立博物館長